

佐野市景況レポート

令和6年1～3月期



佐野商工会議所
〒327-0027 佐野市大和町 2687-1
TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517
HP <https://www.sanocci.or.jp>
E-mail s-cci@sanocci.or.jp
調査協力：佐野市あそ商工会

《 概 況 》

『異次元緩和』から『普通の金融政策』へ

【令和6年1～3月期 実績】

全業種業況DI指数は▲24.4、前期（12月期）比▲0.8ポイントと、市内事業所の景況感は昨年12月の調査からやや悪化しました。

利益DI指数▲29.9（前期比+5.0）、売上高DI指数▲15.1（前期比+5.7）と利益DI指数、売上高DI指数ともに改善しました。また、原材料・仕入価格DI指数は49.1（前期比▲9.1）、販売価格DI指数は13.2（前期比+3.6）と、原材料・仕入価格指数は下がり、販売価格指数が上昇していることから交易条件（販売価格指数－仕入価格指数）は改善しました。

なぜか、利益・売上指数と交易条件が改善したが、業況指数が改善しない状況です。

【令和6年4～6月期 見通し】

3カ月先の全業種業況DI指数は▲20.2（前期比▲2.6）と、業況悪化を予想しています。売上高DI指数▲14.5（前期比▲3.2）、原材料・仕入価格指数38.5（前期比▲2.4）、販売価格指数12.2（前期比+3.4）と、前期予想に比べ、売上高指数は低下し、原材料・仕入価格指数の低下、販売価格の上昇する交易条件改善を予想しています。

【事業所等の景況コメント他】

事業所等の景況コメントには、人手不足、円安等による原材料・仕入価格の上昇、販売価格上昇等のコメントが多く寄せられました。

日銀は3月の金融政策決定会合にて、10年超に及ぶ『異次元緩和』から『普通の金融政策』へと金融正常化に踏み出した。今回の政策変更による企業への影響は比較的小さいと思われるが、変化の第一段階と捉え、金利上昇等による新たな環境変化に備えたい。

〔佐野市内における業況天気図〕

	実 績 (令和6年1～3月期)		見通し (令和6年4～6月期)	
業 況	▲24.4		▲20.2	
売 上 高	▲15.1		▲14.5	
販 売 価 格	13.2		12.2	
仕 入 価 格	49.1		38.5	
労 働 力	▲26.1		—	—

*天気図の説明
(数字はDI値)
・仕入価格、販売経費、在庫はDI値をマイナス評価

晴れ	薄日	曇り	小雨	雨
26以上	11～25	10～▲10	▲11～▲25	▲26以下

調査協力：OKコンサルティング 代表 岡野 清（中小企業診断士）

☆ 業況について（令和6年1～3月期実績）



全業種DI指数▲24.4、前期比▲0.8ポイント低下

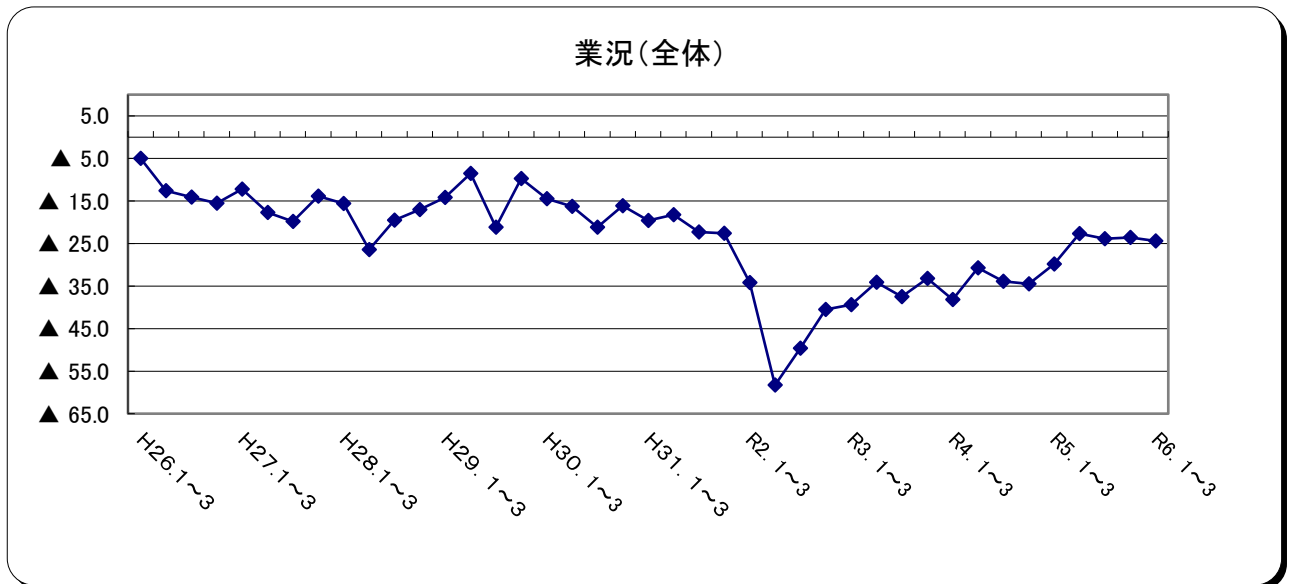
業種別DI指数（上位5業種）

- ①建設業 7.3ポイント、②飲食店▲4.2ポイント、③設備業▲6.1ポイント、④繊維品製造業▲10.3ポイント、⑤食品製造業▲13.0ポイント

良い



悪い



☆ 原材料仕入価格・仕入価格について（令和6年1～3月期実績）



全業種DI指数 49.1、前期比▲9.1ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①飲食店 67.7ポイント、②設備業 62.8ポイント、③食品製造業、その他の製造業、卸売業、小売業(飲・食料品) 60.0ポイント、④建設業 56.8ポイント、⑤機械・金属製造業 39.1ポイント

上昇



下落



☆ 売上高について（令和6年1～3月期実績）

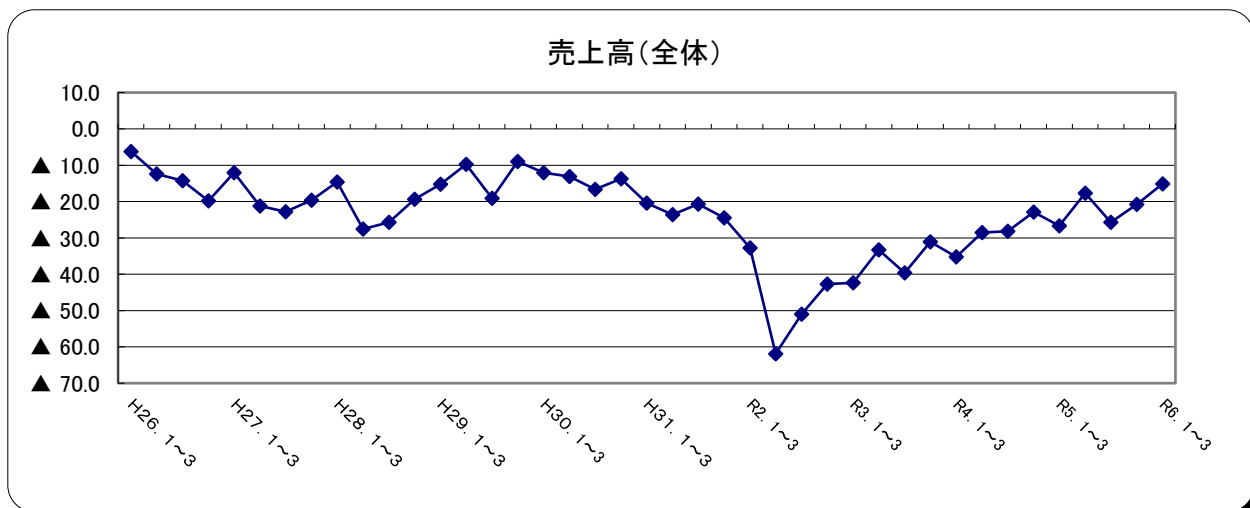


全業種DI指数▲15.1、前期比5.7ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①食品製造業 13.6ポイント、②飲食店 4.2ポイント、③繊維品製造業、サービス業▲0.0ポイント、④設備業▲6.7ポイント、⑤建設業▲7.5ポイント

増加
↑
減少
↓



☆ 受注販売価格・商品販売価格について（令和6年1～3月期実績）

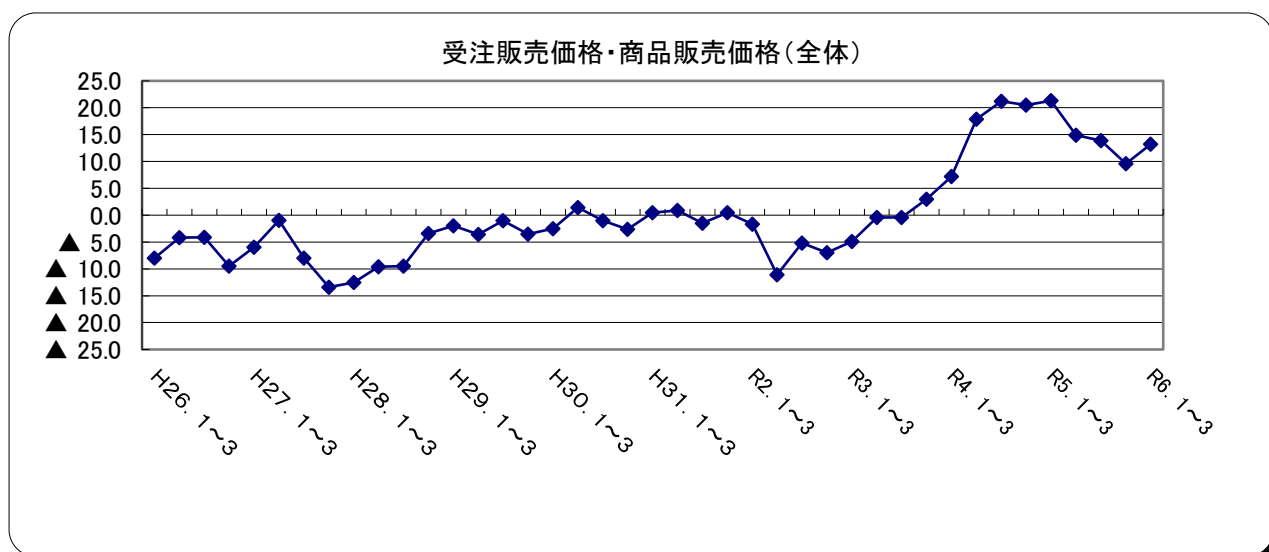


全業種DI指数 13.2、前期比 3.6ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業 30.6ポイント、②その他の小売業(大型店含む)24.0ポイント、③食品製造業 20.0ポイント、④飲食店 16.7ポイント、⑤建設業 14.6ポイント

上昇
↑
下落
↓



☆ 製品（材料）在庫・商品在庫について（令和6年1～3月期実績）

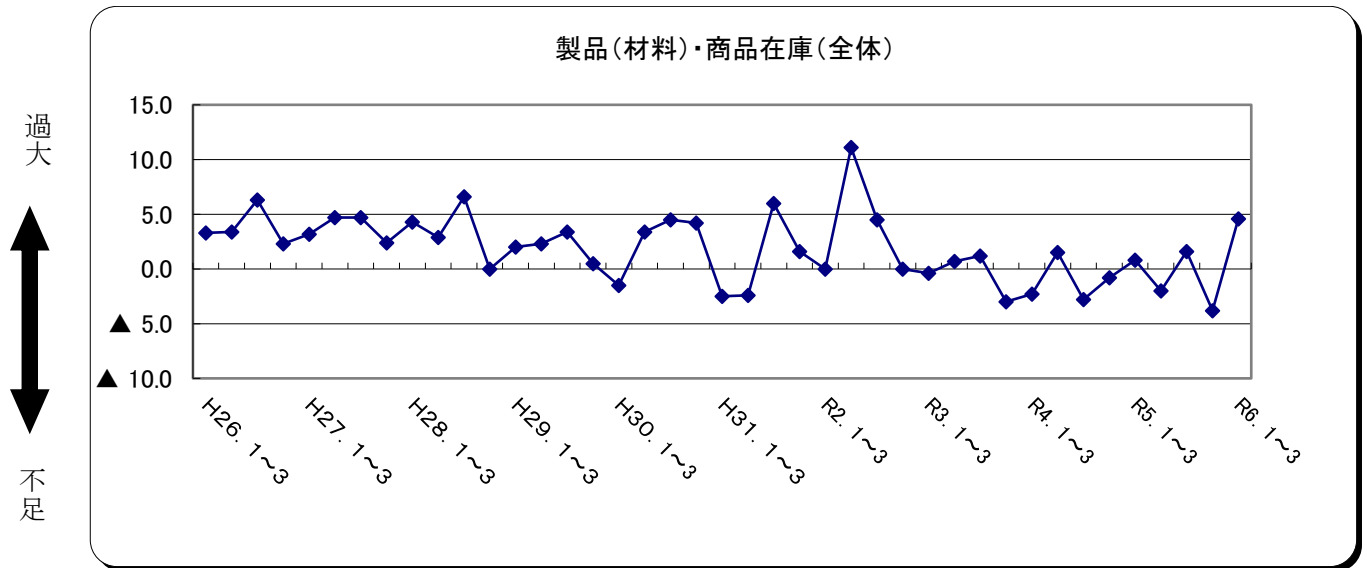
天気図



全業種DI指数 4.6、前期比 8.4ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①小売業(飲・食料品)17.6ポイント、②その他の小売業(大型店含む)17.0ポイント、③化学・プラスチック製品製造業 16.9ポイント、④その他の製造業 11.5ポイント、⑤機械・金属製造業 8.1ポイント



☆ 利益状況について（令和6年1～3月期実績）

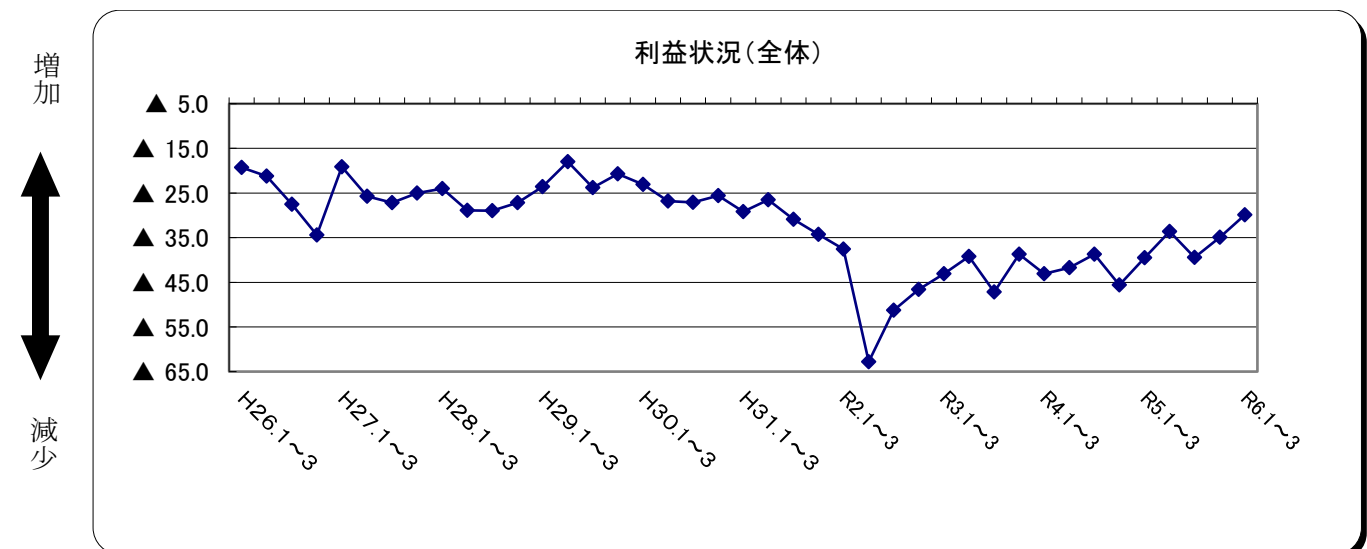
天気図



全業種DI指数▲29.9、前期比 5.0ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①繊維品製造業▲11.1ポイント、②設備業▲13.0ポイント、③飲食店▲17.6ポイント、④建設業▲19.0ポイント、⑤その他の製造業▲24.0ポイント



☆ 資金繰りについて（令和6年1～3月期実績）

天気図

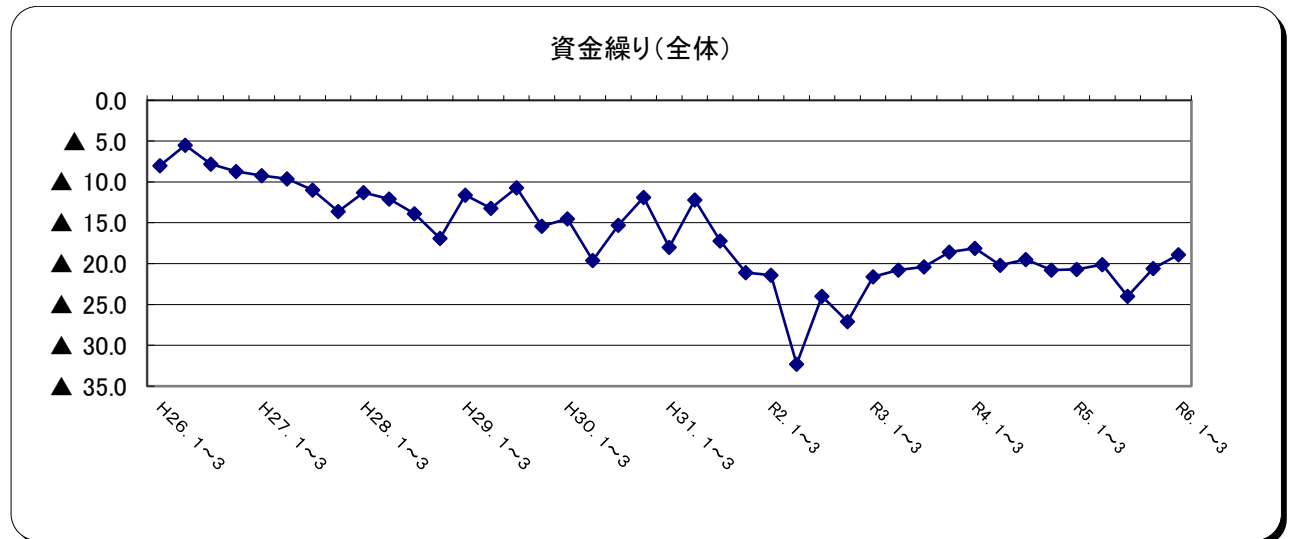


全業種DI指数▲18.9、前期比1.7ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①卸売業▲6.7ポイント、②建設業▲10.8ポイント、③設備業▲12.0ポイント、④その他の製造業、その他の小売業(大型店含む)▲17.0ポイント、⑤小売業(飲・食料品)▲17.6ポイント

楽
↑
↓
苦しい



☆ 労働力について（令和6年1～3月期実績）

天気図

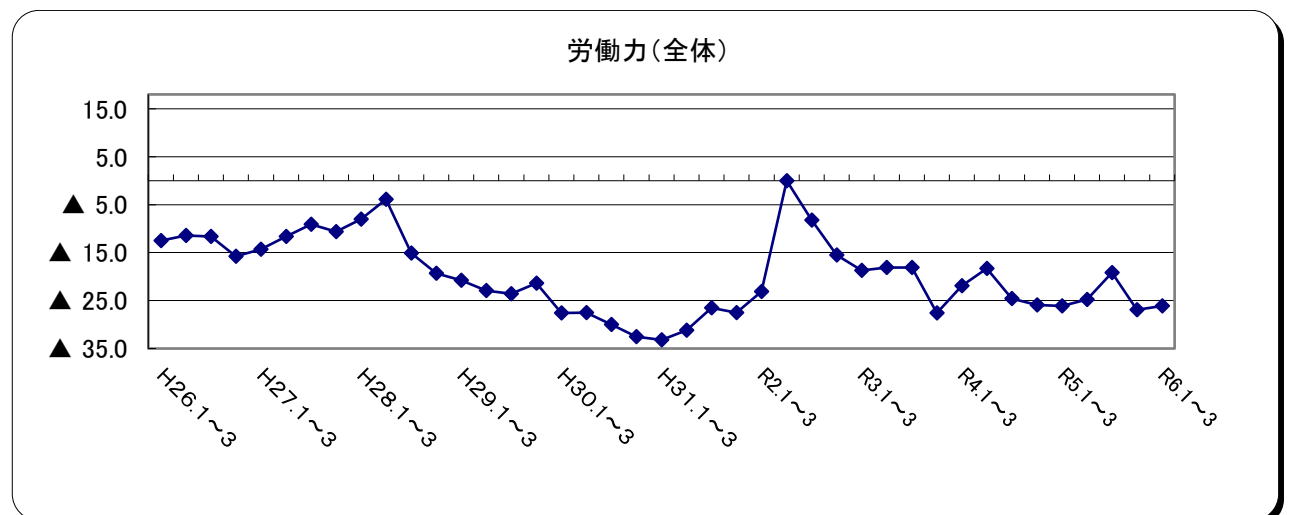


全業種DI指数▲26.1、前期比0.8ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①小売業(飲・食料品)▲8.6ポイント、②その他の小売業(大型店含む)▲11.5ポイント、③機械・金属製造業▲13.0ポイント、④その他の製造業▲17.6ポイント、⑤サービス業▲18.1ポイント

過剰
↑
↓
不足

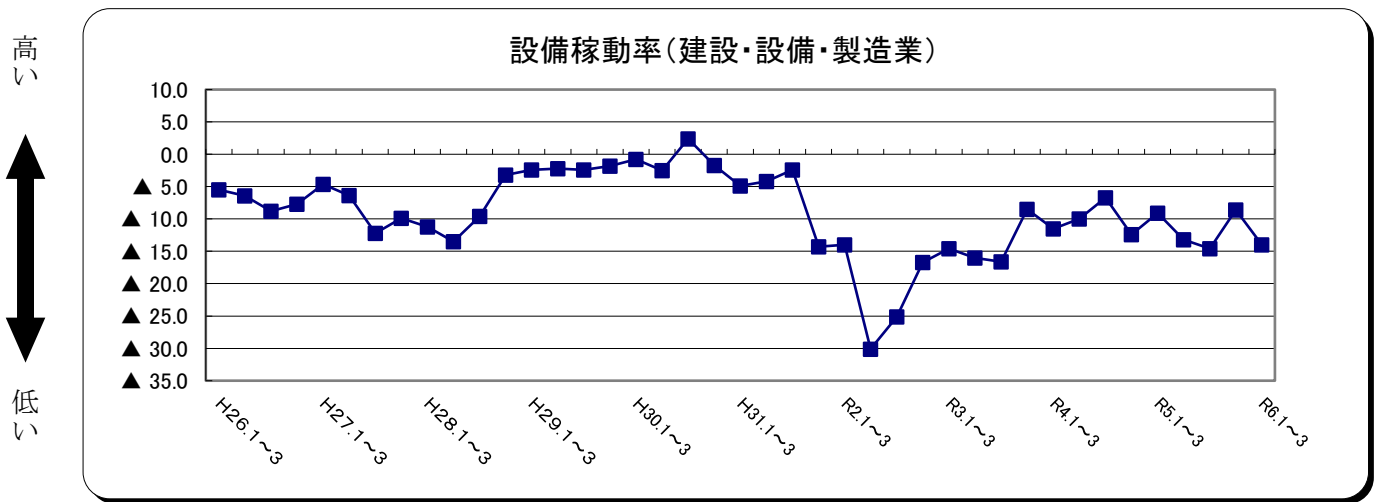


☆ 設備稼働率について（令和6年1～3月期実績）
（建設・設備・製造業関係）



全業種 DI 指数▲14.0、前期比▲5.4ポイント低下
業種別 DI 指数（上位5業種）

- ①繊維品製造業 0.0ポイント、②設備業▲6.1ポイント、③その他の製造業▲11.1ポイント、④建設業▲18.1ポイント、⑤食品製造業▲20.0ポイント

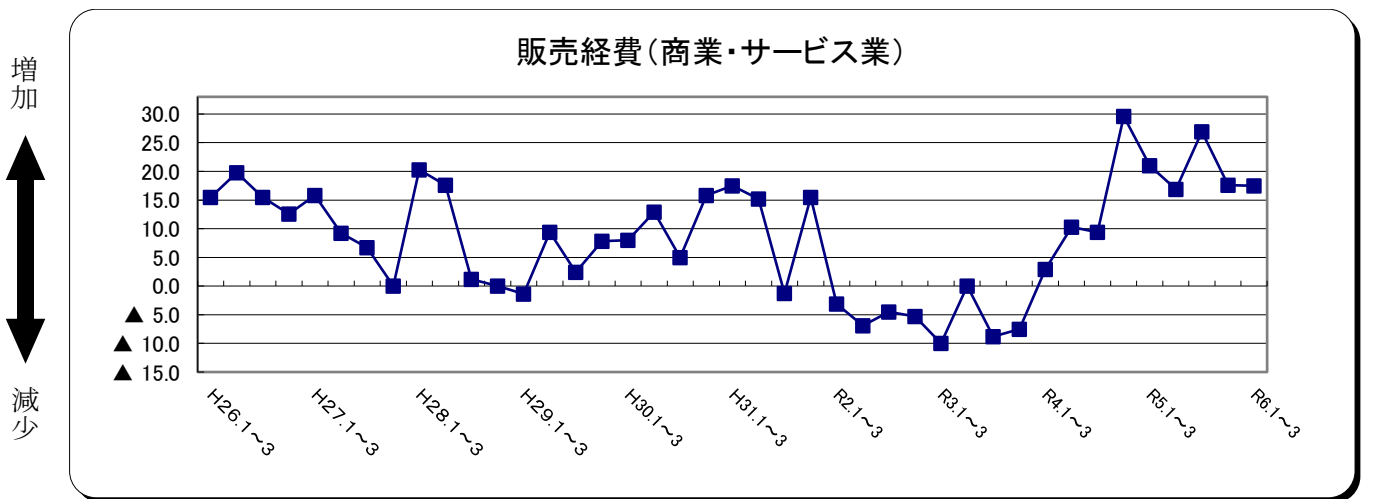


☆ 販売経費について（令和6年1～3月期実績）
（商業・サービス業関係）

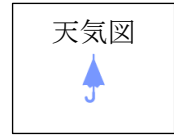


全業種 DI 指数 17.5、前期比▲0.1ポイント低下
業種別 DI 指数（上位5業種）

- ①飲食店 31.3ポイント、②卸売業 20.0ポイント、③その他の小売業(大型店含む) 17.6ポイント、④サービス業 11.4ポイント、⑤小売業(飲・食料品) 0.0ポイント



☆ 今後3ヶ月先（令和6年4～6月期の見通し）の業況について



全業種DI指数▲20.2、前期比▲2.6ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業 0.0ポイント、②建設業▲7.5ポイント、③飲食店▲8.6ポイント、
- ④小売業（飲・食料品）▲9.1ポイント、⑤繊維品製造業▲9.7ポイント

良い
↑
悪い



☆ 今後3ヶ月先（令和6年4～6月期の見通し）の売上高について

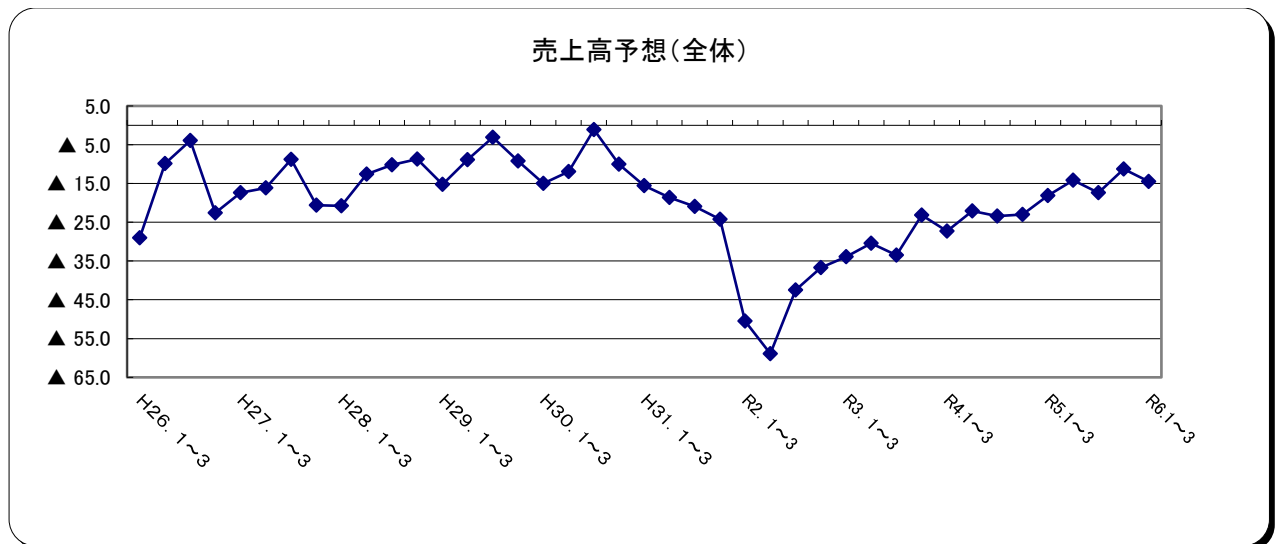


全業種DI指数▲14.5、前期比▲3.2ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業 0.0ポイント、②食品製造業▲6.7ポイント、③サービス業▲7.3ポイント、
- ④飲食店▲8.6ポイント、⑤小売業（飲・食料品）▲9.1ポイント

良い
↑
悪い



☆ 今後3ヶ月先（令和6年4～6月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について

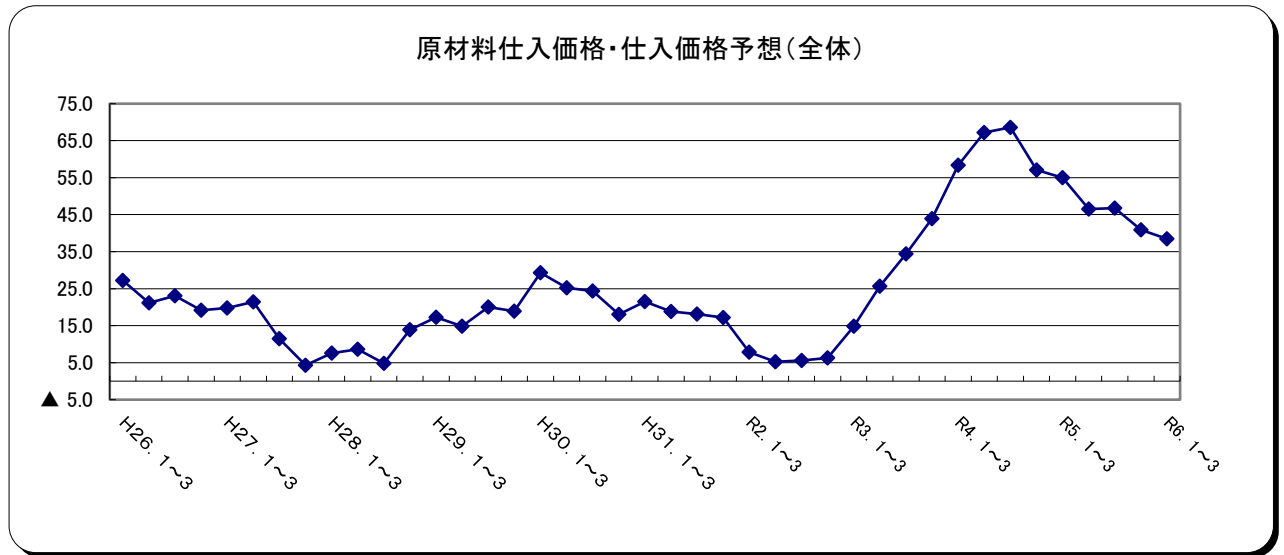


全業種DI指数 38.5、前期比▲2.4ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①設備業 71.4ポイント、②卸売業、小売業（飲・食料品）60.0ポイント、③飲食店 56.3ポイント、④食品製造業 51.2ポイント、⑤繊維品製造業、その他の製造業 42.9ポイント

上昇
↓
下落



☆ 今後3ヶ月先（令和6年4～6月期の見通し）の受注販売価格・商品販売価格について

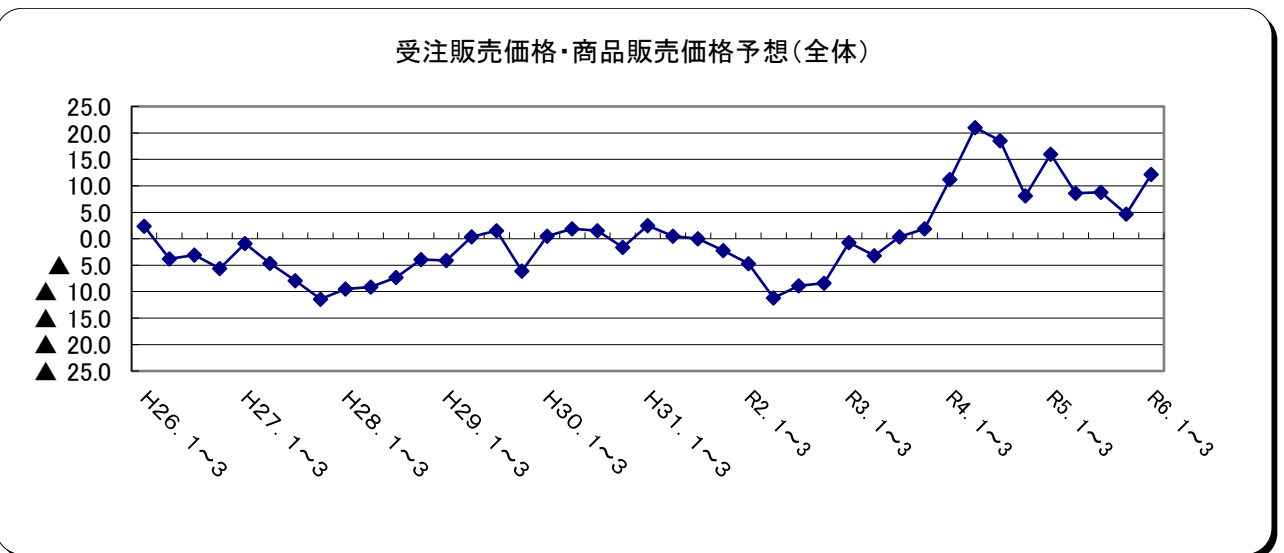


全業種DI指数 12.2、前期比3.4ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

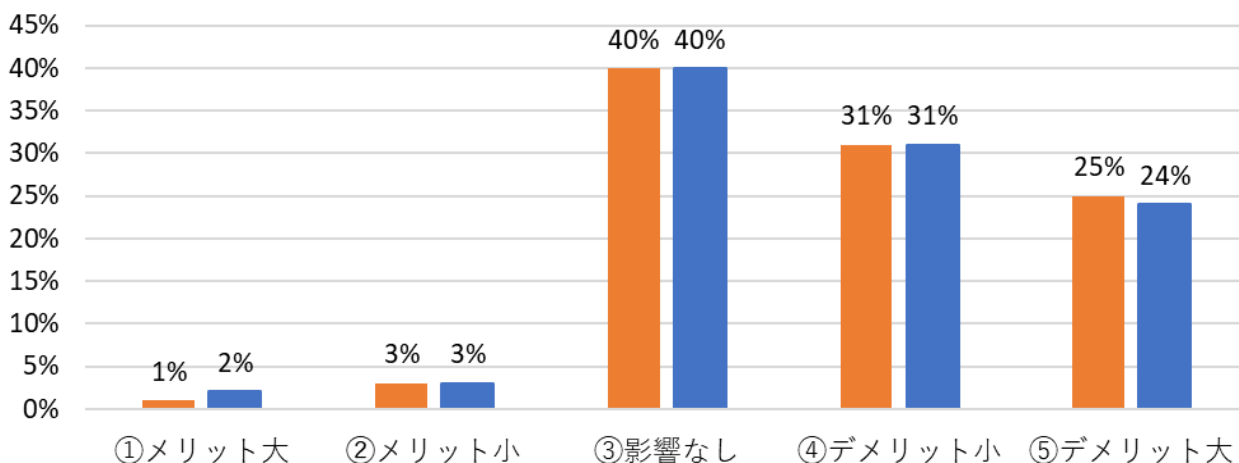
- ①サービス業 25.9ポイント、②食品製造業 20.0ポイント、③小売業（飲・食料品）、その他の小売業（大型店含む）17.6ポイント、④その他の製造業 17.0ポイント、⑤飲食店 16.7ポイント

上昇
↑
下落



円安の影響

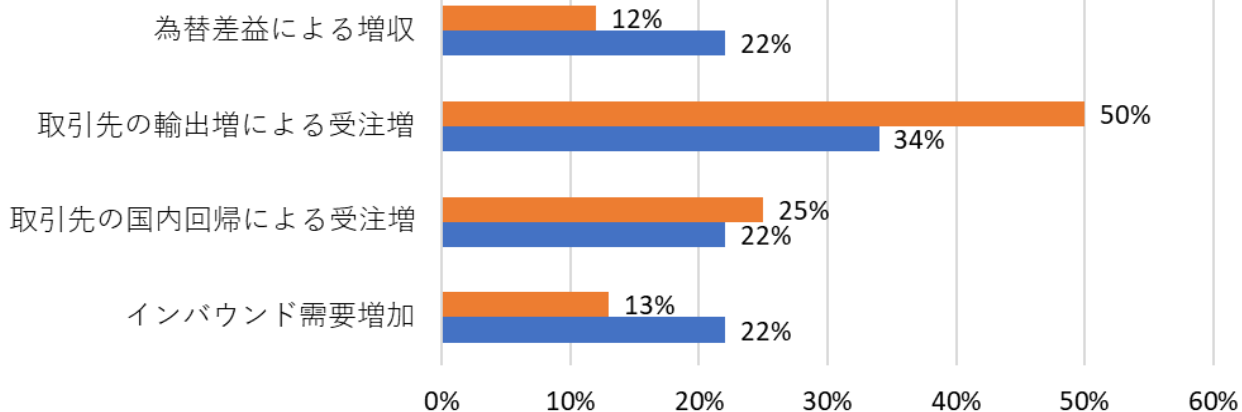
■ R5年12月期 ■ R6年3月期



円安メリット①② (大・小)

(複数回答有)

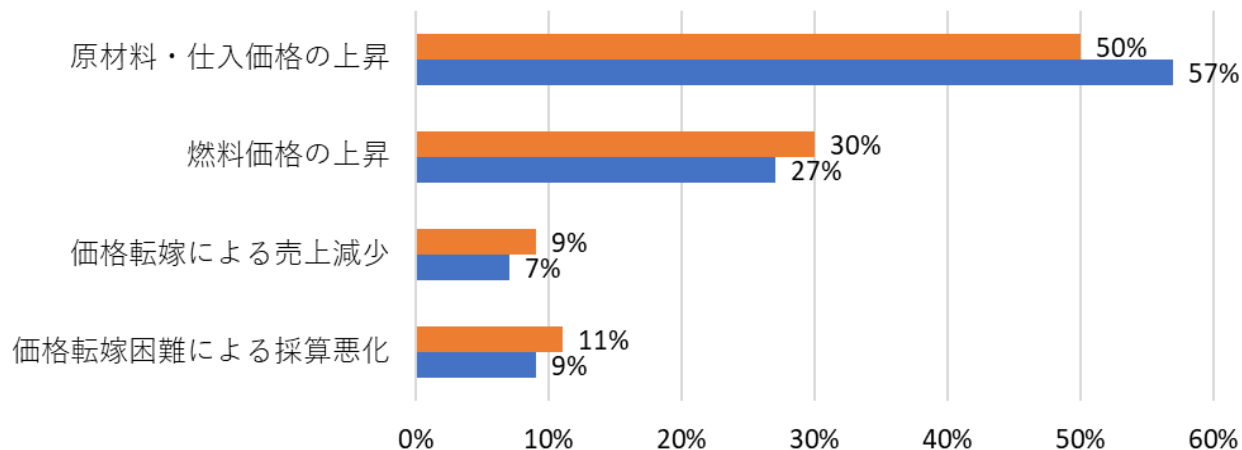
■ R5年12月期 ■ R6年3月期



円安デメリット④⑤ (大・小)

(複数回答有)

■ R5年12月期 ■ R6年3月期



☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景気に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

建設業

- ・公共事業関連の仕事が取れる様になりたい。
- ・年度末の仕事が入ってきているので、何とか期待できそうです。
- ・従業員不足により、仕事依頼に対応できない。

設備工事業

- ・年度末という事もあり、追い込み受注と来年度の設備投資が活発になっている。
- ・資機材等の値上げが予定されている。(衛生器具水廻り商品等)

繊維品製造業

- ・今はよい人が採用出来ず、このまま数年経つと業務縮小が視野に入ります。
- ・なかなか、景気が良くならない。まだコロナの影響が大きい。

食品製造業

- ・パートさんを探しても、なかなか見つからず賃金の高い所などに行ってしまう為、先行きが心配です。
- ・食品製造において需要の増減は円安円高よりも製品単価増による売上個数減の影響が大きく、価格を戻す・下げない限り個数は増えず工場の稼働、売上は良くならない。
- ・政策を行う与党自民党がウラ金等で税金ごまかしているのだから日本の経済が良くなるわけがない。政府は国民負担が増える政策ばかり行うので生活が楽になるわけがない。

機械・金属製品製造業

- ・車業界の不正により設備投資を差し控えている為仕事が少ない、大手企業の賃上げが夢のようです。(零細企業にとって)

化学・プラスチック製品製造業

- ・予定物が進められない、得意先の特急が多く予定数が進められない。客先不具合のBCPに振り回され気味。
- ・化粧品はあまり注文が有りません。

その他製造業

- ・変わらず良い実感はありません。円安で利があるのは輸出メインの大企業だけでしょうね。だから政府も容認しているんでしょうけど。
- ・円安は弊社には悪い傾向です。仕入価格が上昇するだけでなく先方の開発計画が先延ばしになったり変更になったり、さらには再見積りになったり受注や単価設定に影響あり。

卸売業

- ・弊社は 100%輸入品の為仕入価格が上昇しているが、納品価格が上がりず厳しい状況が続いております。
- ・4月から値上の商品がいくつかあります。
- ・円安により輸出は好調ですが、上昇し続ける仕入値が心配です。来月には人材が増えるので売上げ増加を目指したいです。
- ・円安はメリットもデメリットもある。質問の仕方で回答も変わるかも。
- ・景気が良くなっている実感がありません。
- ・業界では物流 2024 年問題が話題となっています。
- ・商品の仕入価格が4月以降も上昇傾向にある。また海外での製造が増えている為、商品

の在庫確保が難しい。

小売業（飲・食料品）

- ・佐野ラーメンを食べたお客さんが、もっと来てくれたらいいのに。と思います。
- ・現状維持の状態です。
- ・あいかわらず景気がよくなり、いつになったら景気がよくなるのか？
- ・値上げする品物、仕入ばかりでたいへんです。

その他の小売業（大型店含む）

- ・お客様が来店しない。ぜいたく品なので低価格品を使用しているのではないかと。
- ・値上げ止まらない。
- ・とにかく来店客数が少なくなっております。

飲食店

- ・これからの価格転嫁する頻度、値付けに消費者が納得してくれるのか悩ましい。しかし適正にしなければならない。
- ・相変わらずの人手不足と材料の値上りは、まだまだ続く様子。
- ・今年に入り価格見直し(値上)を実施した。それに伴い売上高が若干増加した。
- ・お世話になっております。円はどんどん安くなって賃金も下がり続けて、物価は値上げばかり。日本は所得が下がるのに物価が上がるスタグフレーションの状態とされているようですが、消費税減税すらしない(ホントは廃止!)裏金脱税の自民党に怒りがおさまりません。
- ・ランチ・法事等の宴会は少し上向きになってきました。夜に関しては宴会もなく来客も減少。
- ・ラーメン一杯の適正価格に悩みます(他店より安い為)。今年の9~10月頃新店舗オープン予定です。
- ・いつも皆様には感謝致します。
- ・4月以降に価格上昇予定(人材不足により時給も上昇のため)

サービス業

- ・「コロナの影響」「コロナ前・後」という言葉自体がもう古くなっていくようになります。昨日より今日、今日より明日と常に成長できる会社を目指してまいしんじます。
- ・景気悪により広告費削減の影響あり。
- ・物価が上がった上、税金も高額なので利益というものが相殺されてしまう。またコロナ丸経の返済も続くので油断できない。
- ・2024年度に漠然とした不安を覚えます。
- ・機材代は高くなった。1.5倍ほど。
- ・いつもお世話になっております。

佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 令和6年1月～3月
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など290社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）200社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）90社）を対象として実施し、189社（回答率65.1%）から回答がありましたものを取りまとめたものです。

(1) 建設業

① 建設業	25社
② 設備工事業	21社

(2) 製造業

① 繊維品製造業	22社
② 食品製造業	18社
③ 機械・金属製品製造業	40社
④ 化学・プラスチック製品製造業	36社
⑤ その他の製造業	22社

(3) 商業・サービス業

① 卸売業	15社
② 小売業（飲・食料品）	23社
③ その他の小売業（大型店含む）	27社
④ 飲食店	19社
⑤ サービス業	22社

3 分析方法[景況動向指数（D I）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、+100・-100となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

D I 方式は、
$$\frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100$$
により算出

x：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問合先 佐野商工会議所経営支援課 TEL（代表）0283-22-5511



佐野商工会議所